

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成30年11月22日発行
第 156 号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



鰺ヶ沢こども園の子どもたちが、山田野地区で栗拾いを行いました。子どもたちは、こぼれるほど袋いっぱい、栗を拾い集めていました。(10月10日)

9月
定例会号

平成29年度決算	2～3
第3回定例会・第2回臨時会のあらまし	4～6
3人の議員が一般質問(町民・町職員20人が傍聴)	7～9
議会改革特別委員会 先進地を視察	10～12
地婦連との意見交換会開催	13
議員視察レポート 岩手県久慈市へ	14～15
特集 ～まち再発見 ～鰺ヶ沢町に住んでみて	16

鰺ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鰺ヶ沢町議会 検索



QRコード
こちらから



一般会計 66億9578万円

昨年度比 6億6万円減

しっかりチェック

認定

町営住宅 鳴戸団地建替事業
(2棟4戸) 6707万円



室内プール大規模改修事業
(第二期) 7807万円



廃校校舎等解体事業 2306万円
(旧浜横沢・旧芦菴小学校)



写真は
旧芦菴
小学校
解体の
ようす

あじバス(コミュニティバス)
運行委託料 1億3646万円



◎29年度一般会計決算の主な事業◎

平成29年度の決算は、第3回定例会において審議されました。一般会計は、議員全員による決算特別委員会(菊谷忠光委員長)を設置して審査。その他特別会計、企業会計決算は総務文教・産業建設の各常任委員会に付託し、審査した結果、全ての決算を原案どおり認定しました。

平成29年度 各会計決算状況

会計別		歳入	歳出	差し引き	地方債(借金)残高
一般会計		67億7866万円	66億9579万円	8287万円	98億9661万円
特別会計	国民健康保険事業	19億5833万円	18億8678万円	7155万円	-
	農業集落排水事業	1億3466万円	1億3364万円	102万円	11億9927万円
	小規模水道事業	691万円	562万円	129万円	3217万円
	公共下水道事業	3億5160万円	3億4990万円	170万円	25億8304万円
	墓地公園事業	48万円	48万円	0万円	-
	介護保険事業	16億9937万円	16億4672万円	5265万円	-
	後期高齢者医療	1億2423万円	1億2267万円	156万円	-
	水産業振興事業	3328万円	2734万円	594万円	-

平成29年度 企業会計決算状況

水道事業	収益的収支			資本的収支		
	事業収益	事業費用	差し引き	資本的収入	資本的支出	差し引き
	3億794万円	2億6987万円	3807万円	4207万円	1億3990万円	△9783万円
地方債残高 18億2753万円 (平成29年度から旧簡水特別会計と統合)						

※資本的収支不足分9783万円は、当年度分損益勘定留保資金8329万円・繰越利益剰余金処分額1454万円を補てん

(決算額は万円単位(四捨五入)で表示しています)

平成29年度 決算



住民のくらしのため
町のお金はどのように
使われたか

29年度に残ったお金
8287万円

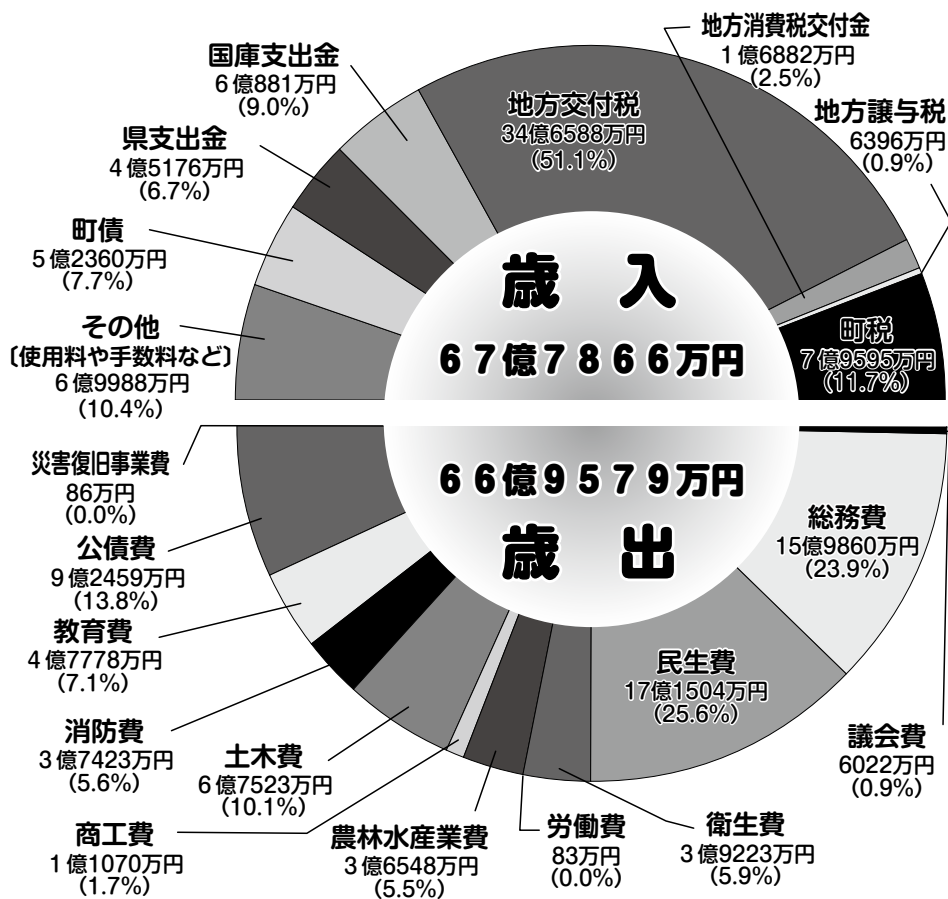
●実質収支
(黒字) 8287万円

そのうち約半分を
▽財政調整基金に積立て
(貯金) 4200万円
※昨年度比100万円減
▽30年度に繰り越し
4087万円

【地方債現在高】
(町の借金)
98億9661万円
昨年度比
2億9544万円減

【財政調整基金】
(町の貯金)
3億6906万円
昨年度比
5800万円減

一般会計決算の内訳



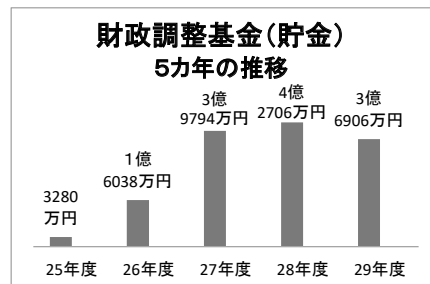
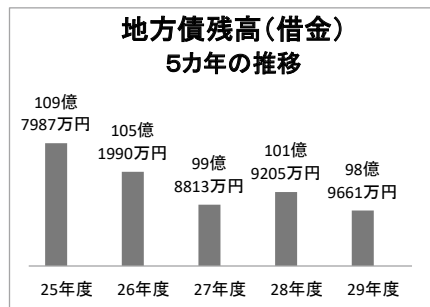
<鯉ヶ沢町の財政状況>

健全化判断比率	鯉ヶ沢町の数値		備考	早期健全化基準
①実質公債費比率	平成29年度	14.7%	県内ワースト1位	25.0%
	平成28年度	15.6%	県内ワースト5位	
②将来負担比率	平成29年度	188.1%	県内ワースト1位	350.0%
	平成28年度	205.5%	県内ワースト1位	

①借入金（地方債）の返済額の大きさを指標化。資金繰りの程度を示すもの
②一般会計等の借入や将来支払う可能性のある負担額を指標化。将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの

資金不足比率	鯉ヶ沢町の数値		備考	経営健全化基準
公営企業会計	平成29年度	—	水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業の3特別会計	20.0%
	平成28年度	—		

「—」は資金の不足額を生じていないことを示す





会期 9月7日～13日

赤石溪流線道路の測量設計委託料

1239万円を補正

平成31年の改修に向けて



県代行工事区間以南の赤石溪流線道路

平成30年度一般会計予算を増額補正 **可決**

一般会計予算は、赤石溪流線等測量設計業務委託料など8549万6000円を増額補正し、歳入歳出総額が65億8257万2000円となりました。

○主な歳出予算○
・あじがさわ未来応援基金積立 5000万円

第3回定例会で決まった主なこと

平成30年第3回定例会が9月7日から13日まで開かれました。本定例会に上程された条例制定や各会計補正予算の議案など28件、諮問2件、報告3件を審議し、最終日の本会議において、全会一致により全て原案どおり議決しました。

11日の一般質問では、議員3名がりんご黒星病対策、学校周辺のブロック塀対策、新庁舎建設などについて町政へ問いました。(質問内容は、7ページから掲載しています)

そのほか、開会初日に、菊谷忠光議会議改革特別委員長がこれまで調査検討した経過の中間報告を行いました。(中間報告の内容は6ページに掲載しています)

・ふるさと納税返礼等に関する経費
3599万6000円

・赤石溪流線等測量設計業務委託料
1239万9000円

・町観光協会補助金
330万円

債務負担行為の設定

▽旧鰻ヶ沢第一中学校解体事業
(限度額) 7000万円
(期間) 平成31年度

▼条例制定

居宅介護支援事業所の指定権限が県から町へ移譲

介護保険法改正により、介護支援専門員(ケアマネージャー)を配置している事業所の指定権限が県から町へ移譲されたことに伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定めるため、条例を制定するもの。

旧鰻ヶ沢第一中学校の校舎等解体事業について2カ年にわたる契約を行うため、予算として設定するもの。

※契約は、現年度予算額との合算となります。

人権擁護委員候補者の推薦 **適任**

現在、1名の欠員及び本年12月31日に任期満了となる人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、次の2名を適任と判断しました。

▽(新任)
田中 由美子 氏
舞戸町

▽(再任)
今 郁子 氏
北浮田町

【任期】法務大臣から委嘱された日から3年

第2回 臨時会 10月16日

平成30年第2回臨時会が10月16日に開催されました。

本臨時会には、旧鰻ヶ沢第一中学校校舎等解体工事の議案1件が上程され、審議の結果、全会一致で可決されました。

同工事の契約にあたり指名競争入札をした結果、次のとおり締結することに決まりました。

〈契約の相手方〉
株式会社丸重組

〈契約金額〉1億2355万2000円



解体が決定された旧鰻一中校舎

〈工期〉平成30年10月17日から平成31年5月31日まで

〈工事概要〉校舎(体育館と技術棟を除く)やプール、相撲場のほか、浄化槽等外構を含めた解体

西海岸衛生処理組合議会議員の選任

欠員となっている西海岸衛生処理組合議会議員に、世永富也議員を選任しました。

各委員会に付託された 議案の審議内容

9月12日
9月13日

●決算特別委員会

農道管理はしっかりとされているか

問神議員 農道で側溝が埋まり道路に水が流れている箇所が多々見られる。予算を計上し側溝の整備をする考えは。

答一戸農林水産課長

側溝が埋まることが原因による農道の盛土崩壊は把握している。側溝の泥上げに関する予算要求をしているが今年度は計上とならなかった。

災害をなくす観点からも引き続き要求していく。

社会教育体制の充実を

問長谷川議員 青年期・中年期に向けた社会教育事業は実施されなかったのか。社会教育の視点から事業を計画し公民館を

活用し、公民館職員と連携した体制の検討を。

答小笠原教育課長

人材育成講座を一回開催したが、今後充実させていきたい。少ない人員体制のなか、社会教育班と公民館と協力しながら事業を進めていく。

町観光協会に対する今後の支援は

問東條議員 本定例会で町観光協会補助金330万円を追加補正で計上しているが、今後の対応は。

答平田町長 これまで観光協会は管理費なしで海の駅わんどの指定管理をしてきたが、昨年度から運営が非常に厳しくなってきたことから、今回補正予算を計上した。来年度からは指定管理料を予算化し、町として引き続き支援していく。

援していく。

※一般会計決算は特別委員会で、その他の議案については、各所管の常任委員会にて審議しました

●総務文教常任委員会 〔菊谷忠光委員長〕

●一般会計補正予算

問民生費社会福祉対策費の増額は。

答今福祉衛生課長

現在、町の高齢化率は40パーセントを超え、町社協と連携実施してきた地域見守り推進事業などを見直し、多機関の協働による包括的支援体制構築事業を実施していく。

○産業建設常任委員会 〔今 勝義委員長〕

○公共下水道特別会計決算

問32年度までの下水道工事計画はどこまで進む予定か。また、採算は取れているのか。

答工藤水道課長

当初の計画では、新地町までである。採算はとれていない。

○水産業振興事業特別会計決算

問幻の魚イトウの交配はどうなっているか。また、今後の事業の見直しは。

答清野農林水産課水産班長

29年度は北海道大学から親魚を提供していただいた。収入、需要ともに上がっているため、今後とも販売を継続していく。

たい。

決算審査意見

〔財政健全化へさらなる努力を〕

監査委員 増田 晶夫
渋谷 悦男

29年度決算の状況を見ると、町税の収入額は数年来大差がなく、人口減少等から見ても、大幅な収入増は期待できず、収入未済額や不納欠損額も多額である。

歳出については、公債費の負担割合が改善しつつも、未だ多額の起債残高を有し厳しい状況にあるが、財政調整基金の残高も標準財政規模からみた適正規模を満たすに至っている。

今後、新庁舎建設に当たり有利な起債活用するとはいえ、将来の財政の硬直化を招かないよう、引き続き、経費削減のた

【要望】①赤石溪流線道路の計画的整備について
現在、通行止めになっている赤石溪流線の県代行工事は平成31年夏の開通を目標に進められているが、観光産業にも考慮し、工事終了後の地域道路の整備計画についても早期に示していただくことを望む。

【要望】②保育施設の再編について
町では、子育て支援や保育サービスの充実に取り組んでいるが、町内の5保育施設は老朽化している建物も多く、中でも鱈ヶ沢こども園は新耐震基準に適合していないため、大規模改修などの対応が必要と思われる。直面している課題の解決のため、保育施設の再編に向けた計画について、早期に示していただくことを望む。



決算に係る現地検査の様子

収入未済額とは…歳入とするべき金額が、年度期間内に納入されなかった額のこと。
不納欠損とは…督促をしても納付されず時効が到来した場合等、損失として処分すること。

議会改革特別委員長 中間報告

～開かれた議会 分かりやすい議会の実現に向けて～
議会基本条例の制定を目指していく



中間報告をする菊谷委員長

第3回定例会の初日、議会改革特別委員会の菊谷忠光委員長が調査検討した経過について中間報告をしました。本特別委員会は、町民の付託に迅速かつ的確に対応し、町民に必要とされる議会づくりを進めるため、平成28年6月3日に設置。これまで15回の委員会と、3回の全員協議会を開催し議会改革に取り組みました。その中間報告の内容をお知らせします。

模擬議会の開催

次代を担う若者に町政や町議会への関心を深めていただくことを目的に模擬議会を開催しました。

◆中学生模擬議会

鯉ヶ沢中学校3学年

(平成28年11月開催)

◆高校生模擬議会

鯉ヶ沢高校2学年

(平成29年7月開催)

夜間休日議会開催

町民へ議会に関心を持っていただき、より身近に議会に参加できる環境づくり・傍聴できる仕組みづくりのため夜間議会を開催しました。

◆夜間議会

平成28年9月定例会一般質問を夜6時から実施しました。(傍聴者21名)

◆休日議会(開催予定)

平日傍聴できない方の傍聴機会拡大のため、平成30年12月定例会の一般質問を日曜日に開催する予定としています。

議員定数・議員報酬

◆議員定数は12名

近年の人口減少等を考慮し検討した結果、議員定数は現状維持としました。

◆議員報酬月額を改正

議員間で報酬月額の引き上げ、現状維持と意見が二分し、協議を重ねたものの全員一致とならず、議員発議として改正案を上程。賛否討論、採決の結果、議員報酬は引き上げとなりました。

【改正後の報酬月額】

・議長 24万5000円
・副議長 21万円
・議員 20万円

その他の取り組み

一般質問に関する学習会のほか、婦人団体や鯉ヶ沢高校生との意見交換会を開催しました。

今後の取り組み

この改革を一層推し進め、鯉ヶ沢独自のスタイルを構築するため、先進地議会で学んだことをいかし、町議会のできることから取り組み、町民に対して開かれた議会、わかりやすい議会の実現に向けて、議会改革を明確にした議会基本条例の制定を目指す決意です。

第4回定例会の予定

議会の傍聴にお越しく下さい



質問席を設置(対面式へ)

これまで、一般質問は演壇で議員や傍聴席側に向かって質問を行っていましたが(再質問からは議席)、平成30年第3回定例会の一般質問では、町長など理事者側に向かって質問をする対面式としました。

一般質問 日曜議会を開催

平日、お仕事や子育てなどで議会傍聴できない方も傍聴いただけるよう、日曜議会を開催します。
ぜひ、この機会に傍聴してみませんか。

議会日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、ホームページでお知らせします。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

一般質問



齋藤 孝夫議員

9月定例会では、3人の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し、町長の考えや町の政策方針を問います。

りんご黒星病撲滅のための支援を 答へ来春に向け薬剤経費の助成を検討

長の考えをお聞かせください。

※黒星病とは……カビの一種で胞子が分散することで、葉や果実に黒い斑点が現れる

答弁・加藤副町長
①薬剤に対し助成できないか。

今年、平年より早く

葉上病斑が確認され、生



黒星病が確認された葉

町としては、黒星病に
対する治療効果が
認められる新規薬
剤の早期開発、登
録等について、関
係市町村とともに
県・国に対して要
望活動を行ってい
ます。また、来春
の特別散布に要す
る薬剤経費の助成
についても、前向

産者は春先から懸命な防
除にあたりましたが、6
月以降、急速に感染が広
がりました。

近年、黒星病は通常の
薬剤散布防除暦では防ぐ
ことができないため、特
別散布を実施しており、
そのために薬剤の散布回
数が増え防除コストが膨
らんでいます。

きに検討していきたいと
考えています。

今後いろいろな災害
等が発生することが予想
されますので、農家の皆
さんにはぜひ収入保険や
りんご共済等に加入する
など、農業経営の安定に
努めていただきたいと思
います。

答弁・太田農業委員会事
務局長
②スピードスプレーヤー
の燃料費の免税を増やし
てもらえないか。

スピードスプレーヤー
は、免税軽油の対象とな
る農作業用機械の一つで、
黒星病対策として、大幅
に散布回数が増え、当初
の免税割り当て軽油数量
では足りない場合、西北

また、粗放園の対応に
つきましては大変難しく、
個人的なりんご栽培方法
にも関わることにもなり
りんご防除暦に沿ってい
ただきたい旨の指導はな
かなか難しい状況にあり
ます。明らかにりんご樹
の伐根が残っていて、そ
こが病原菌発生源である
ことが確認された場合に
は、放任園と同様に指導
していくことになると思
います。

また、免税軽油制度は
平成21年度の税制改正か
ら特例として3年毎に延
長措置が継続していて、
平成30年4月から再度3
年間延長されています。

答弁・加藤副町長

③放任園、粗放園を調査
し、指導もしくは適切な
対応をしていただきたい。

町としては、放任園が
発生しないよう、発生状
況調査、現地指導及び広
報活動等を実施していま
す。もし、放任園が発生
した場合は、伐採、伐根、
処分等を行うことになり
ますが、あくまで個人財
産であることから、所有
者の同意を得てからの実
施となります。

平成29年、30年の発生
状況調査においては、放
任園になりそうな園地が
ありましたが、所有者と
協議し処分していただい
ています。

また、粗放園の対応に
つきましては大変難しく、
個人的なりんご栽培方法
にも関わることにもなり
りんご防除暦に沿ってい
ただきたい旨の指導はな
かなか難しい状況にあり
ます。明らかにりんご樹
の伐根が残っていて、そ
こが病原菌発生源である
ことが確認された場合に
は、放任園と同様に指導
していくことになると思
います。

※齋藤議員は、このほか
にも次のような質問をし
ています。

◆漁業振興策について

圃町の二漁協合併の状況
は、また、合併が進んだ
場合、町の支援対応は。

現在、協議中の段階。
今後、合併となった場合
もできる限り支援してい
く。



一戸千代久議員

役場新庁舎の建設に木材の活用を 答へ鉄骨造であるが、木材の利用促進を図る

討されたのか伺います。

答弁・佐藤総務課長

役場新庁舎の建設事業は、昨年度作成した町新庁舎建設基本構想を踏ま

えて、2020年度末の完成を目指しており、来年3月末までには、実施設計を完成させる予定と

しています。

役場新庁舎への木材活用については、これまで複数回にわたり検討してまいりましたが、建物の構造や外観等において木材を活用することは難しいという判断に至りました。従って、現在進めている役場新庁舎の基本的な構造は、鉄骨

であります。

しかし、木材の利用促進法や町の公共建築物における木材利用方針等を鑑み、県産材や地域材の利用促進を少しでも図るため、例えば、出入口付近のホールや町民窓口、カウンターの一部や壁・天井の一部、議場の一部など、直接又は間接的に来庁者の目に触れると思われる部分については、できる限り内装等の木質化を取り入れて進めていきたいと考えています。

問・なぜ我が町は、もう少し先進地に学ぼうとしないのか。

岩手県紫波町では、地元産力ラムツを使って役場庁舎を建てました。それは、林業の育成、地場産業の発展のためです。もう一度町民の意見を

聞いて、可能な限り木造を拡大してほしいです。ご答弁をお願いします。

答弁・平田町長

ご承知のとおり、当町は、財政的に非常に厳しい時代を経てまいりましたので、役場新庁舎建設にあたっては、建設コストを低く抑え、耐用年数などを考慮した施設ということ、実施設計に向かっているところです。

現状の役場庁舎は、昭和58年に起きた日本海中部地震の影響により、外壁のひび割れ、雨漏りなどがあります。雨漏り対策についても、新庁舎の屋根は防水シートを張るのではなく、金属製の屋根にするなど、建設後のメンテナンスを十分検討しながら、長期的に経済効率性の高い役場庁舎にするため、計画を進めています。

今後みなさんの意見を参考にさせていただきたいと思っております。意見・鱒ヶ沢町は林業の町です。

町長は、財政面を考慮し鉄骨造として進めているということですが、財政上問題があればあるほど、木造の方が建設コストを低く抑えることができるのではないかと思っております。

行政が率先して木材の利用拡大を図ることが、産業育成にもつながっていくわけですから、可能な限りの木材の利用をお願いいたします。

※一戸議員はこのほかに次のような質問をいたします。

◆拠点館の利用について
拠点館をどのように利用していく考えか。
密段階的な利用を検討していく。

国では、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律が策定されていますが、これに比べて役場新庁舎の建設にあたり、木材の活用を

防災拠点の視点から、木造ではできないとしていますが、耐震、防火でも鉄筋に劣らないことが調査結果で明らかにされています。それほど鉄筋にこだわる理由は何ですか。



役場新庁舎の外観イメージ図（基本設計段階）

役場新庁舎への木材活用については、これまで複数回にわたり検討してまいりましたが、建物の構造や外観等において木材を活用することは難しいという判断に至りました。従って、現在進めている役場新庁舎の基本的な構造は、鉄骨

問・なぜ我が町は、もう少し先進地に学ぼうとしないのか。

岩手県紫波町では、地元産力ラムツを使って役場庁舎を建てました。それは、林業の育成、地場産業の発展のためです。もう一度町民の意見を

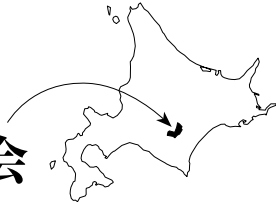
議会改革特別委員会

視察レポート

～議会改革の先進地に学ぶ～
北海道 芽室町議会・浦幌町議会
 ▶議会活性化の取り組み
 ▶議員のなり手不足問題の検討

7月25日

めむろ
芽室町議会



議会改革度調査2017 1位

議会改革特別委員会では、議会改革の先進地である北海道 芽室町議会・浦幌町議会の取り組みを学ぶため、7月25日から26日の2日間にわたり、視察研修を行いました。
 その様子を菊谷忠光議会改革特別委員長がリポートします。

◆まず、なぜこの北海道にある芽室町と浦幌町を視察先として選んだのか。何よりも議会改革が進んでいるということ、鱈ヶ沢町に山積している様々な問題の中、特に人口減少や町議員のなり手不足問題に積極的に取り組んでいることから、わが町が抱える問題の解決策を探るためである。

芽

室町は、十勝平野の真ん中、帯広から北北西約十キロに位置し、人口は約1万8千人。特産はビート、小麦、馬鈴薯、スイートコーン、小豆などで生産が盛んな農業王国であり、また、ゲートボール発祥の地として知られ、大相撲の芝田山親方（元横綱大乃国）の故郷でもある。

芽室町議会が議会改革の道を進んだきっかけは、議員個人でも、議会としても十分に機能しているつもりであったが、町民から「定数を減らせ」「給与を減らせ」「議会が何をやっているのかわからない」「本当は議員なんていらぬのでは」という厳しい意見を受け、議会が町民に理解されていないことを反省し、議



芽室町議会 柴田副議長、早苗議会運営委員長、立川委員と議場にて

会活性化計画の策定に取り組んでいる。

計画の内容は、①議員研修体制の構築・強化②積極的な情報公開③自由討議の推進④広報・広聴の充実⑤住民参加の推進⑥議会基本条例制定の検討の6項目を挙げ取り組み、平成25年の議会基本条例制定に至っている。

町民にわかりやすく、町民に開かれ、行動する議会を目指して

議会基本条例に掲げる「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議

会」を実現する施策として様々な展開されているが、①町民に伝える意見交換会②定例会議のほか各委員会などのネット中継③議会モニター・議会サポーター制度（外部からのチェック機能）の導入④議員ごとの活性化計画の取組に関する自己評価⑤ICT（情報通信技術）導入と推進について、興味深く聞き入った。

芽室町議会では、通年議会制とし、委員会活動も活発で年間の活動日数が多い。あまりの多忙なスケジュールに忙しすぎるのではと質問したが、「これが、当たり前になってる。やっと住民にも納得していただいている」

また、議員定数16人のうち新人議員が8人と世代交代はうまく進んでいて、新人議員は「当選し

た時からこのような状態なので、忙しいのは当たり前。違和感はない」とのことだった。
 芽室町議会の議会改革に対する考えは、議員個人では限界がある。議員が団結して議会として動き、意見をぶつけなければ町は変わらない。
 自分のための議会ではなく、町民のための議会を考えなければと意識が変わったことによって、議会改革が進んでいる。

通年議会については、一年を通して会期中であるため、災害発生時の対応が早く、機動的な委員会活動ができることをメリットに挙げている。委員会だからこそ制約なしに動ける、と熱く貴重なご意見を頂いた。

さらに、今後の展望と課題として、「改革を止めない」「町民の関心をさらに上げる」「政策議会への推進」の3つを挙げ、議会改革を推し進める強い意志が感じられた。

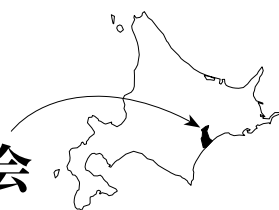
通年議会制とは…毎年、条例で定める日から翌年の当該日の前日までを会期とし、一年を通じた会期とすること

浦幌町議会の議会改革へのきっかけは、平成22年に町民から「議員報酬は日当制へ、議員定数は13人を10人にすべき」という陳情が提出されたことからであった。これは、議会活動が町民に見えていない、理解されていないことが、町民からの痛

浦 幌町は、釧路より西に100キロほどの太平洋側に接し、人口は約4800人。面積は約730平方キロメートルと広大で、鱈ヶ沢町と同様に細長い地形にあり、畜産、漁業が中心産業である。

7月26日

うらほろ 浦幌町議会



議員のなり手不足の検証・チーム議会



浦幌町議会田村議長、森副議長ほか議会運営委員の皆さんと意見交換を行った議場に

- ① 議会監視能力の強化
- ② 調査、政策立案
- ③ 議会運営のあり方
- ④ 町民に開かれた議会、町民参加の議会
- ⑤ 議員定数
- ⑥ 議員報酬

⑦ その他議会の活性化である。さらに、7項目から検討項目として55項目を設定し、かなりの回数数の議論を重ねている。その過程において、議会として平成24年12月議会基本条例制定を結実し、現在に至っている。

以前は、活気のある若者が議員に就いていたが、本業があまりにも多忙で周りに迷惑をかけてしまうという思いから、次期の立候補を諦めた背景があるようだ。浦幌町では、議会基本条例にうたっている議員及び町民が自由に情報・意見の交換を行う一般会議や議会モニター会議、講演会などで、議員のなり手不足をテーマに意見交換を実施し、町民とともに考え、その検証を行っている。

また、「なり手不足解消のための環境整備を求める意見書」を国に対し提出し、地方議員が活躍できる環境整備及び法改正を要望している。浦幌町議会田村議長は、「我々が一生懸命取り組んだおかげで、今は町民の理解を得られている。自己評価しながら、さらに議会改革を進めてきて、間違いはなかった。よかったと思う」と話され、これまで取り組んできた

自信の表れであると感じた。そして、私たち鱈ヶ沢町議会改革委員に対してまずは、「一人ではなにもできない、チーム議会になること」、「身の丈に合った議会改革を」とアドバイスをいただいた。浦幌町議会のみなさんはすごいパワーを持った方たちである。同じ日本人なのにどうして考えが違ふのだろうか。やはり、開拓民としての気質がこのようなに動かししているのか。※ヘラクレスの選択を思い浮かべた。また、実年齢に比べて、とても若々しく見え、一生懸命取り組んでいる姿は率直にかっこいいと感じた。

私が町議会は、今までどおりでよいのか、もっともっと町民と向き合うべきではないのか、「チーム議会鱈ヶ沢」は結成できるのか、また、いろいろな課題に立ち向かうことができるのか。深く考えさせられた視察となった。町民の皆様にもぜひ、議会に対し、意見をぶつけていただきたい。町民のための議会であるために。

平成26年に、定数条例が改正され13人から11人へと削減。平成27年の改選時では、議員定数に対し、候補者10人と無投票になり、現在1人欠員となっている。人口減少は我が町のような地方だけではなく、日本全体で考えなければならぬ問題であり、議員定数に欠員が出たことはとても残念に思う。

浦幌町議会田村議長は、「我々が一生懸命取り組んだおかげで、今は町民の理解を得られている。自己評価しながら、さらに議会改革を進めてきて、間違いはなかった。よかったと思う」と話され、これまで取り組んできた

自信の表れであると感じた。そして、私たち鱈ヶ沢町議会改革委員に対してまずは、「一人ではなにもできない、チーム議会になること」、「身の丈に合った議会改革を」とアドバイスをいただいた。浦幌町議会のみなさんはすごいパワーを持った方たちである。同じ日本人なのにどうして考えが違ふのだろうか。やはり、開拓民としての気質がこのようなに動かししているのか。※ヘラクレスの選択を思い浮かべた。また、実年齢に比べて、とても若々しく見え、一生懸命取り組んでいる姿は率直にかっこいいと感じた。

（菊谷忠光議会改革特別委員長 記）

チーム議会でより町民に開かれた運営



浦幌町議会との意見交換のようす

※ヘラクレスの選択とは…ギリシャ神話の中で安全な道と苦難な道が二つあったときに苦難な道を選ぶことを指している



今 勝義委員

2日間の行政視察は、今後の議会改革の進め方などを示してくれ、大変勉強になった。

議会を改革するために議会基本条例策定議論を重ね、開かれた議会として、町民参加のワークショップや町民モニター制度の導入など町民に関心をもって頂くため、一年だけでなく毎年続けている。

また、活性化策を検討する中でも、議会改革の項目を議会活性化計画としてまとめ、全議員で確認し毎年更新することで、町民の自治に対する意識を高めていくことにつながっているのだと思った。

鱈ヶ沢町の発展のためにも、議会改革を町民と一体となって進めていきたいと感じた。

議会改革特別委員会視察に参加して

議会改革特別委員会の視察に参加した各委員の感想を紹介します。



東條 一彦委員

芽室町議会、浦幌町議会ともに議会改革が進んでおり、我が町議会で抱えている課題解決の参考とするため両町議会から議会改革の取り組みの状況などを聞かせて頂いた。

両町議会とも現在では町民参加の議会を重要視している。そうする事によって町民に議会への関心を持ってもらい議員のなり手を確保していきたいとの思いもある。

わが町議会も今まさに議会改革を進めている最中だが、今まで以上に町民が議会に関心を持っていたき、町民参加の議会をつくるのが早急に必要だと感じた。



新保 勝敏委員

両町議会と当町に類似することも多く、少子高齢化による人口減少、議員のなり手不足（無投票や投票率の落ち込み等）による危機感を抱き、議会改革をするに至ったとのことである。

芽室町議会では住民の声を踏まえ、町議会としての政策を提言するスタイルを形成、また、議会基本条例の議員自己評価を行うなど、さすが、議会改革度調査全国一位の芽室町議会であると感心させられたと共に、これからも性根を据えて改革に臨みたいと思う。

浦幌町議会では、各種団体との意見交換会、休日議会など鱈ヶ沢町議会としても実施済みのものや計画しているもののほか、一般質問作成プロセスマニュアル、定例会毎の勉強会、反省会、なり手不足の検証、反問権（反論権）など、大いに参考にして議会改革に取り組みたい。



鶴田 悦子委員

両町議会では、町民へ微に入り細にわたって、議会活性化のために手を尽くされていることに感銘した。

議会基本条例を制定され、本会議だけでなく委員会の傍聴、会議録の図書館やホームページでの公開、また、議会活性化講演会を開催したり、モニター会議を開くなど、町民のために、分かりやすい議会、町民の身近な議会、開かれた議会を目指して取り組まれていることを学び、その議会改革への道程の大変さを身にしみて感じた。



長谷川 統一委員

ここ数年、わが町議会で取り組んできた議会改革、まさに住民に寄り添った開かれた議会づくりに向け、全国議会改革度ランキング第一位の北海道芽室町議会と、議員のなり手不足の解消のため取り組んでいる北海道浦幌町議会を視察した。

個人的には、議会改革に至った思いがどのように表れたのか聞くことを目的に参加した。

両町とも、議会と住民との乖離感に対してこのままではいけないといった思いから、自分たちがこのような状態を変えるんだといったまさに、開拓者のフロンティアスピリッツがベースとなり改革に励んできた感じがした。

今、全国的にこれから迎えるであろう大幅な人口減少問題に際し、議員定数の問題や議会そのものの存在を見直すといった大きな問題が見え隠れしている。我が町議会としても早くからこの問題に対し、検討し取り組んでいくことが必要であると再認識させられた。住民に対し、議会制民主主義を今一度ご理解いただくため、まさに住民に開かれた議会づくりに向け、町議会として、また議員個人のスキルアップが大事であると感じさせられた視察研修となった。この思いを持って、さらなる議会改革に向け努力していくことが必要であると感じた。

町議会×地婦連 意見交換会

女性が活躍する鱒ヶ沢町を目指して

<テーマ>

- ① 鱒ヶ沢町に若い女性が残るために必要なことは
- ② 地域の結びつきを強くするためには
- ③ 女性の社会地位向上・社会参画を進めるためには



女性が活躍するまちづくりのために

意見交換会では、町議員11名、地婦連15名、町職員8名の総勢34名が参加し、昨年同様、席替えをしながらテーマごとに話し合うワールドカフェ方式で行いました。

進行は、長谷川統一議長が務め、各テーブルでは、それぞれの思いや意見を模造紙に書きながら、話し合いました。その内容の一部をご紹介します。

10月23日、町議会では、昨年度に引き続き、鱒ヶ沢地域婦人団体連絡協議会（工藤八子会長以下、「地婦連」）と意見交換会を開催しました。今回は、昨年の意見交換会で出された意見から、町の現状と課題をとらえ、今後のまちづくりに向けて住民と考えるとともに、町議会として政策形成へ繋げるため、地婦連と共催で実施したものです。

① 町に若い女性が残るために必要なことは

- 男女ともに働く所があること
- 魅力的な町であること
- 出会いの場を町で提供
- いろんなイベントの開催
- 楽しめる場所が少ない
- 住宅設備の充実不足
- 町が経済的に豊かになることが大事
- 子育てしやすい環境

② 地域の結びつきを強くするためには

- 若い男女がけっばる
- 若い人の協力が必要
- イベントを多く開催し、交流を深める
- 全町での付き合い
- スポーツ大会（6才から100才まで）
- 日常の交流が必要!!
- 各地域のもつけの人に呼びかけて地域の問題点を話し合う!
- 高齢者の方も引っぱって参加する(巻き込んで)

参加者の感想

大きいテーマでいろいろな意見が出たが、その意見はどのように活用されるのか？

議員の方と毎週1回でもお茶を飲みながら、おしゃべりする場があったらいいな。

雰囲気も良くおもしろかった。いろんな話、考えを聞いて勉強になった。

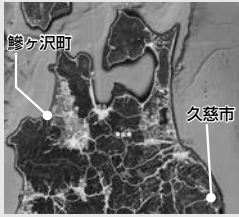
今後、各産業や業種、各年代との意見交換会を実施してもいいのでは。

テーマを一つに絞って、もっと掘り下げて話すと、具体的な解決方法が見えてくるのかも。

③ 女性の社会地位向上・社会参画を進めるためには

- 職場、家庭の理解
- 出産、子育て後の職場の復帰のしやすさ
- 男性がしている仕事をできる女性を育てる
- 家事MEN・育MEN→家庭がうまくいく
- 女性の家庭での仕事分担を考慮する（家族の協力）
- 育児休暇男性にも取ってほしい
- 女性を必要とする社会を増やす

平成30年度議員行政視察日程



岩手県久慈市

10月3日 久慈市議会
10月4日 久慈市施設
(3カ所)

Report
議員行政視察

歴史文化で結ぶ友好協定 岩手県久慈市へ
▼議会基本条例の策定プロセスは
▼廃校の活用を調査

町議会では、議会基本条例制定及び議会改革の取り組みに関する調査のため、施設管理運営並びに廃校利活用に関する調査のため、10月3日、4日、岩手県久慈市において議員行政視察を行いました。その視察内容を新保勝敏議員がレポートします。

今年度の議員行政視察は、津軽藩の始祖大浦光信公の出身地で当町と歴史文化において交流のある、岩手県久慈市を訪ねました。

久慈市議会

はじめに、議会事務局から議会基本条例策定のプロセスや、議会改革の取り組みについて説明を受けた後、質疑に入り、中平議長、桑田副議長と事務局職員を交えて意見交換会を行った。

「じえいじえい基本条例」
おら達の「ことば」
市民に親しみやすく

議会基本条例策定への契機は前議長の議長選定の議会改革取り組みへの決意表明とのこと。議長諮問の議会改革検討委員会が設置され、改革事項



積極的に質問する議員

市民と一緒に「語る、かだつて会議」

議会報告会とは別に実施している「かだつて会議」は、ワールドカフェスタイルで無作為抽出した市民と協働してテーマに沿って政策課題を話し合い、その意見を受け止め、議会として政策形成を検討している。

市民と一緒に「語る、かだつて会議」

その後、議会改革推進特別委員会を設置し、その下に3専門部会（条例策定・広報広聴・定数報酬等）が組織され、検討がまわっている。

条例策定部会では、議会改革の必要性など認識を深め、議員同士一

⑥議会同士(事務局同士)の積極的交流

⑤正副委員長所信表明
④ICTの積極的活用
③かだつて会議の設置
②議会活動の検証
①前文に方言を盛り込む

条話し合いながら策定を進めている。条例素案がまとめられ、パブリックコメントを経て、平成26年3月に条例が制定されている。



中平議長からタブレット活用の利点を聞く

ICTの積極的活用
タブレットで議案確認

全議員がタブレットを所有し、日程確認、議案書や議会招集などの通知文書もタブレットで確認できるペーパーレスとしている。また、議場内にスクリーンを設置し、映像を使用した質問を行っている。

中平議長から当議会は参考にとどめ、地域に合った議会改革をと助言をいただき、大変有意義な意見交換となった。

今回の視察を機に、当町議会も条例制定に向けて大きな進展に結び付くよう、取り組んでいきたい。

久慈市施設視察

10月4日

久慈市文化会館(アンバーホール)

※アンバーは英語で琥珀ミルルクという意味

三船十段記念館

久慈市歴史民俗資料室

日本海拠点館の利 用・施設の管理運 営を探る

久慈市文化会館 (アンバーホール)

2日目、はじめに久慈市文化会館を視察した。地上3階、地下1階で、大ホール(1178席)、小ホール(351席)のほか、文化情報コーナー、視聴覚室、練習室、会議室、ラウンジ等が設置されている。中央にあるエントランスホールは高さ43メートルのガラス張り



当日、コンサートの準備がされていた大ホール

円錐形で、エレベーターを上ると展望台があり。市内一円が眺望できる。担当者から大・小ホールなど案内してもらい、施設概要や運営方法について説明を受けた。

説明では、舞台スタッフは3人で市内業者に委託。現在、開館から20年が経ち設備改修時期を迎えているが、座席は一度もクリーニングしたことはなく、きれいに使われているようであった。館内の冷暖房は重油利用で燃料費は年間800万円、電気料は約2千万円と施設の規模にしては空調経費が掛かっている

いようである。

大・小ホールの年間稼働率は5割で、学校の吹奏楽の練習などが多く、市民利用のため減免を厚くし、利用の8割方減免と収入面からみると、市民サービスに重きを置いているようである。

当町では、今後、拠点館の段階的な利用を検討していくとのことだが、町議会としても参考としたいと思う。

三船十段記念館

次に、久慈市出身の柔道家三船久蔵の功績と業績を称え紹介している三船十段記念館を視察した。

同館は総工費6億4000万円、平成2年に開館。小柄ながら近代柔道の礎を築き、講道館最高位の十段まで上り詰めた同氏の生涯をパネル展示や映像などで紹介して

いる。

また、柔道場が併設されている。また、スポーツ少年団などの練習が行われているほか、久慈市内の柔道大会でも利用されている。



併設された柔道場(2面)

廃校校舎の利活用 方法を学ぶ

久慈市歴史民俗資料室

資料室は、長内中学校が久慈商業高等学校校舎へ移転したことに伴い、空いた校舎を活用したもので、文化財の保管および展示場として使用されている。

校舎2階には教室を改造した展示室が4部屋あり、久慈地方の砂鉄資源や鍛冶道具等、たたら製鉄に関する資料、市内の遺跡から出土した土器・石器・琥珀製玉等の埋蔵文化財資料、市民から収集した民具等の民俗資料を鑑賞した。

そのほか、1階、3階には市内に分散されていた埋蔵文化財、民俗資料が一括保管されていた。展示品等は、アンバーホールでテーマ展示としても開催され、広く市民に鑑賞されている。

また、敷地内校庭には、東日本大震災後に建設さ



千葉文化課長から展示品の説明を受ける議員

れた仮設住宅が5棟残っていて、校舎内の一教室を避難所としても開設している。

当町の廃校利活用を考えるうえで大いに参考となった。

行政視察を終えて

視察当日は、鱈ヶ沢町と久慈市との歴史文化で結ぶ友好協定調印式が行なわれ、両議会が見守った。

今後、自治体のみならず、多岐に渡り連携が図られ、更に発展されることを期待したい。

(新保勝敏議員 記)



友好協定調印式

特集 ～まち再発見～

鱈ヶ沢町に住んでみて

Vol. 6

新品目の生産で

農業所得増に繋げていきたい



北浮田町

神 宗憲さん・由利子さん

由利子さんは、五所川原市（旧市浦村）出身の宗憲さん（写真左）と2歳のお子さんと3人暮らし。宗憲さんは、隣家に住むご両親、弟さんと一緒にトマトなどの野菜や精米所を家族経営されています。

特集「まち再発見」6回目の今回は、鳴沢地区で、主にトマトを生産している若手農家の神宗憲さんと町外から嫁いで来られた奥様の由利子さんお二人に話を伺いました。

聞き手は、菊谷忠光広報委員です。

- 高校の同級生の紹介で知り合いました。五所川原市（旧市浦村）から鱈ヶ沢町に嫁がれた由利子さん。
- Q 鱈ヶ沢町の印象は。
- A （由利子さん）市浦とは道が続いていて、あまり変わらな
- Q 町の好きな場所、食べ物。
- A アビタニアジャージファームのソフトクリームが好きです。ドライブが好きなので、深谷の方などもおすすめです。白神の森遊山道の中にはまだ入ったことがないので、行ってみたい
- Q 農家にお嫁に来てくれるかなという不安はなかったですか。
- A （宗憲さん）農家と分かっていたので。
- Q 由利子さんはどうでしたか。
- A 農家といってもどんなことをやるのかわからなかったのですが、逆に良かったのかなと思います。
- Q 海の駅に出荷されているそうですが。
- A 主にトマト、とうもろこし、キャベツなどを出しています。
- Q 売り上げはどうですか。また、何か新しいことを考えていますか。
- A 売り上げは、まあまあいいです。
- Q 今後は、野菜の種類を増やしてみたいです。
- A みんなが作っていない新しいものを作り、海の駅に出したいと考えています。
- Q 町に対して言いたいこと、思うことは。
- A 今は行けないですが、くろくまの滝を早く直してもいいですね。
- Q 観光の目玉でもあるし、県外から来る人がいなくなるのではと思います。
- A 子どもがいるため、健診場所の中央公民館2階の畳が古いのが少し気になるけど、夏場は風が暑いので、健診場所は環境が良いところがいいなと思います。
- Q 子育て支援の面では、おむつ支給がすごく助かりました。
- A そのほかに、月4回あるサポセンサロンでは、保育園に通っていない子どもを遊ばせたり、親子交流したりできるので、助かっています。
- Q 10年後の夢、また挑戦したいことは。
- A 農業でお金を稼ぎたいなど。今は、生産量を増やさないともまだまだです。
- Q ビニールハウスを休ませているところもありますが、今後は、全ハウスを使用して作っていきたいと思っています。
- A 全体的に気温が上がってきているので、ぶどうなど果物の栽培をしていきたいです。少量でも販売価格が高いものを作っていければと思います。



トマトハウスのそばで新鮮な野菜を販売